

大阪府三島薬事懇話会概要

日時：平成30年2月7日（水）

場所：茨木保健所 5階 大会議室

■議題1 会長の選出

茨木市薬剤師会 会長を選出

■議題2 事業報告

(1) 各支部 事業内容

(資料2-①) 各支部 事業内容

- ・ 高槻支部
- ・ 茨木支部
- ・ 摂津支部

(2) - 1 かかりつけ薬剤師・薬局の機能推進の取組について

(資料 2-②-1) かかりつけ薬剤師・薬局の機能推進の取組について

(2) - 2 薬局・薬剤師訪問薬剤管理研修事業について

(大阪府薬剤師会から報告)

(資料 2-②-2) 薬局・薬剤師訪問薬剤管理研修事業への協力について

(3) 保健所活動特別推進事業 ～薬局における残薬等服薬管理啓発事業～

(資料 2-③) 薬局における残薬等服薬管理啓発事業

■議題3 健康サポート薬局 事例報告

(摂津市薬剤師会から報告)

(資料 3) ニューロンネットワーク株式会社の取り組み

■議題4 第7次保健医療計画及び医療費適正化計画について

(資料 4) 第7次保健医療計画及び医療費適正化計画抜粋

■議題5 その他

なし

(意見交換)

- 備蓄医薬品の予算を行政はどのように確保しているのか。
 - ・ 水や薬など災害備蓄品の最低限の予算は確保されていると聞いている。
 - ・ 大阪府では医薬品の卸売販売業者と災害協定を結んでおり、緊急時の備蓄医薬品の確保に取り組んでいる。
 - ・ 薬局等で抱えている薬剤を使うランニング形式を検討している。
 - ・ 薬剤師会や医師会の協力で地域の薬局等で備蓄し、災害時、薬局から調達するのが合理的と考える。

- 薬局の24時間対応について。患者の中には日中混んでいるという理由からコンビニ感覚で夜間に利用する人もいて対応に苦慮していると聞いている。何か改善案などあれば教えてほしい。
 - ・ 薬局の24時間体制の趣旨について、医師や薬剤師が直接患者に伝えるべきである。
 - ・ 各団体と連携し府民に啓発していくことが救急受診を理解する上で重要である。

- 残薬管理は重要であるが、認知症患者等の残薬管理ができない方々への対応についてどのように考えているか。
 - ・ 大阪府では、認知症は福祉部 高齢介護室、精神疾患は健康医療部 地域保健課が担当しており、薬務課と連携して認知症患者等への残薬管理に取り組んでいきたい。